



佐賀大学教職大学院 院生ライフレポート



ストマス×現職、対話的で深い学び！



教職大学院生活での学びも2か月を過ぎ、グループワーク等を取り入れた演習中心の授業や、院生の発表による授業も増えてきました。発表は所属コースを問わず、ストレートマスター（以下、ストマス）と現職院生のペアやグループによって行われます。発表準備は授業のない時間や放課後等に集まり、様々な資料や文献を基に話し合いを行います。これまでの学びとも関連付けながら発表内容をまとめ、より分かりやすく伝えるための資料を作成します。発表の準備や授業を通して、ストマスは現職院生の経験談を聞いて学校現場のことについて知り、現職院生はストマスの意見から新たな視点を得ています。良い影響を与え合いながら、自己の学びを深めていくことができるのは、教職大学院だからこそ得られる貴重な経験だと強く感じています。



現在、各コースで何を行っているのか紹介します！

〈子ども支援探究コース〉自身の研究について指導や助言を頂きながらテーマの洗練を行っています。特に、現職の先生方の現場の生の声は、自分の研究の指針を示してくれます。（ストマス）

発表やレポートに追われていますが、一つ一つを終えるごとに達成感を味わいながら、さらなる勉強の必要性も痛感しています。毎週交代で研究の方向性を発表し、指導や助言を頂きながら、テーマを絞っていつているところです。自分の興味関心を深められる期待感に胸膨らんでいます。（現職）

〈教育経営探究コース〉8月下旬～9月に行われる関係機関実習に向けて、探究実習の研究テーマを設定しているところです。教職大学院2年目の学校現場での実習と大きく関わるテーマであるので、授業や文献での学びを通して、学校現場が抱える課題を把握・分析しながら、研究テーマを決めています。（現職）

〈授業実践探究コース〉9月から始まる基盤教育実習に向けて、実習校へ挨拶に行きました。実際に学校を訪問し、お世話になる先生方のお話を聞いたことで、子どもたちのためにより良い授業ができるよう、『もっと勉強しなければ！』とモチベーションが上がりました。（ストマス）

研究実習の足場となる先行文献を読んだり、理論研究をしたりしています。また、7月2日の教育実習研究計画発表会に向けて、研究テーマの見直しなどを行っています。9月からは、教育実習が始まるので、実習校の授業を参観したり、どんな授業をするかの構想を練ったりしている段階です。（現職）

教員採用試験迫る！

今年度の教員採用試験が迫っています。様々な方から指導や助言をいただきながら、各自対策に取り組んでいます。受験する校種や教科は様々ですが、教員採用試験を受ける仲間同士、全員が教師になることを目指して、切磋琢磨しながら頑張っています！

編集者 F & K

